

東郷二十世紀梨100年記念行事



100年樹
(久見地区)

6月定例会 目次

一般質問	2～6P
議案審議、委員会活動...	6～7P
請願・陳情審査	8P
臨時会報告	8～10P
その他	11～12P

東郷二十世紀梨導入100年を記念した
「梨の日」行事が^ナ7月^シ4日に100年樹の前で開
催され節目を祝福した。
希望を胸に1年生苗木が移植され、次の100年
に向けての新たなスタートがはじまった。

一般質問

町政のここが聞きたい!!

平成18年6月定例会は、6月26日に5名の議員より一般質問があり、町政全般について熱心に議論を展開した。

質問及び答弁の要旨は次のとおりである。

④次世代育成支援の 実施状況と見直しは

A 概ね計画通り進捗



濱中武仁議員

平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、平成17年から10年間、地方公共団体、企業等が集中的・計画的な取り組みを促進する「行動計画」の策定が義務づけられた。

本町においても、昨年2月に、少子化対策を町政の最重要課題のひとつとして位置付け「湯梨浜町次世代育成支援計画」・「ゆりはますこやか子育てプラン」を策定した。町の計画では、各年度において実施状況を把握・点検し、その後の施策や計画の見直し等に反

映させていくとされている。また、地域協議会において、今後の計画の実施状況を把握・点検されるようだが平成17年度をどのように評価するのか伺う。

答弁（町長職務代理者）

この法案の目的である湯梨浜町次世代育成支援対策協議会は、「ゆりはますこやか子育てプラン」の策定及び推進に必要な措置などを協議、検討、評価する組織として、主任児童委員・医師・保育士・住民代表などで構成され設置された。

平成17年度に行った支援施策は概ね計画通り進捗している。妊産婦・乳幼児・父母を対象にした「えっくすクラブ」、「えっくすピクス」、「五歳児健

診」、「ファミリーサポートセンター」など本町独自の施策は評価されている。

本年4月の機構改革で子育て支援課が児童福祉、母子保健を担当し、多角的でかつ効果的な支援策を推進していくことが重要と思っている。今後とも委員会や住民の意見を聞き、プランに沿って実施する。



ファミリーサポートセンター事務室（羽合分館内）

【A】均等な住民サービス

り返し行っている。

全職員にISO推進のアンケートを実施した。その結果、職員の地域間格差を埋める努力が必要

である。また、費用対効果からの計算は困難である。町民に均等なサービスが提供できるよう努力していきたい。



費がかかっている。町の財政状況から無駄をなくさなければならぬ。費用対効果の点から必要なのかどうか、真剣に検討されるべきと思うが。

平成13年度から旧羽合町でISO9001を認

答弁（町長職務代理者）

相談・苦情等の迅速な対応など、良好な行政サービスの提供ができるという事であった。そのためには職員一人ひとりの意識改革が必要、研修等を行い住民サービスの向上に努めたいと言われているが、ISO9001はサービスの向上になっているのか伺う。

職員からも「SOは必要ない、無駄な仕事ではない」という声もある。平成16年度約480万円、平成17年度約200万円の経

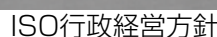
ズの基本は、町民に的確で均一な行政サービスを提供することである。そのため、町の経営方針・各課の目標を定め、苦情等迅速で確実な対応及び継続的な改善に取り組んでいる。平成17年度から明るい庁舎推進委員を選任し、サービス改善のための接遇研修や職員全体でも研修を実施している町民からの苦情・要望等の処理事項の記録、トップまでの報告、確認するシステムの意識改革を繰

内心の自由を侵すのでは

A 愛国心の評価は困難

憲法十九条で思想・良心・内心の自由が保障されている。全国各地でも愛国心に対する通知表の評価が実施されているが、内心の自由を評価することとは難しい、問題がある

というところで見直しや廃止をする学校も増えている。小泉首相ですら「内心にまで立ち入って強制するものではない」と言っている。本町において「愛国心」についての



評価は実施されているが、また、愛国心の評価制度についての教育長の見解を伺う。

来年度から全国一斉テストが実施される。学校の序列化、小学校の早い時期から、できる・できない子の習熟度別の固定化教育は、等しく学習する権利を保障した憲法に反する。競争原理を教育に持ち込まず、少人数学級を増やし、教育の充実を図るべきと思うが見解を伺う。

答并（教育長）

現在の学習指導要領は先人の業績や文化遺産への興味・関心と理解、歴史や伝統を大切にし国を愛する心情を育て、歴史上の人物の働きや代表遺産等の理解を深めることを目標にしている。評価については4つの基準で実施されているが、情情的にふれる評価は実施していない。特に、愛国心という情については個々

異なるのが当然で、評価は困難と考える。

来年4月に全国一斉テストが実施される。目的は学力調査だが、それ以外に学力と学習環境・家庭環境との相関を調査するもので、テスト結果は市町村の比較材料にならないよう配慮していく。生徒が等しく学習する手だて・配慮を大切にしていく、可能な限り少人数学級は広げていきたいと考えている。

「愛国心」通知表190校

[illegible]

新聞記事

障害者自立支援の取り組みは

A雇用創出に向け 積極的に取り組む



浦木 靖議員

理責任者は重要な役割を担うことになるが、人員配置はどう考えているのか伺う。

答弁（町長職務代理者）

障害者自立支援法が昨年10月に制定された。

利用者の一割負担、あるいはサービスを要する人ほど利用者負担が多くなる応益負担となった。10月1日には運用となるが、内容についての説明は十分行われているのか。障害者福祉計画と町の福祉計画との整合性はどうか。

就労支援では、小規模作業所は補助金が打ち切られる可能性が高いが、町の基本的な考えはどうか。また、就労移行支援として人員配置も必要となる。特に、サービス管

障害者の社会参加、自立の促進である。10月までに「地域活動支援センター」が障害者の方々の身近な活動拠点となるように関係機関と協議している。

町内に小規模作業所が2ヶ所あるが、現実問題として、仕事を確保することが非常に困難である。雇用の機会創出に向け、情報収集や啓発など積極的に取り組む。

専門職員の配置と社協との連携を図っていき



小規模作業所ありんこ
（藤津地域）

橋津川不法係留

解消のための対策は

A県と一体的に取り組む

昨年12月に羽合漁港の開港式が行われた。漁港管理については、漁協関係者が組合を作り、その組合に維持管理等もすべて一任すると聞いたが、その後の経過を聞きたい。

橋津川の不法係留について、地元から毎年のよ

い。

答弁（町長職務代理者）
今年3月28日、漁業者27名で管理組合が結成された。羽合漁港は小型漁船を中心に、40隻を目標に利用促進を図っている。維持管理は町と管理組合で役割分担し、適切に管理を行う。

橋津川の不法係留対策については、地元要望を受け、県に要請を行っている。県は地元船舶所有者・漁協・町等関係者で橋津川不法係留対策協議

会を設置する方向で検討している。町は機会あるごとに河川管理者に対して不法係留対策を要請しているが、進まないのが実情である。
係留については、権限のない所に一定期間継続して置かれているものは不法係留に該当すると思う。町として河川管理者と一体的に不法係留撲滅に向けて取り組んでいきたいと考えている。

うに陳情や要望が出されているが、不法係留解消のための対策はどうなっているのか。

係留について、不法係留が一時係留か、町の認識を伺いたい。町単独で取り締まるつもりはないのか伺う。



不法係留（橋津川左岸）

◎住民サービスの充実を

【A】住民の期待に応えるよう努力



増井久美議員

医療制度改革法が成立し、住民の負担は大変な状況である。国保税が引き上げになったが、今後財政を建て直し、引き下げる努力を期待したいが、どんな対策をとっていくのか伺う。

地方交付税が削減され、自治体は厳しい財政状況だが、住民の暮らし・福祉を守る町政を要望したい。

保育所は財政を理由に民営化してはならないと考える。また、認定保育園制度も新たに出てきたが、安易に取り入れることには反対である。病後児保育についても町の見解を伺う。

放課後児童クラブの土曜日廃止や長期休暇中の開始時間の変更には不満の声がある、もっと利用者の意見に耳を傾けてはどうか。



田植え（田後保育所）

答弁（町長職務代理者）

公立保育所の運営を基本にし、公立であれ、民営であれ、幼保連携施設であれ、地域の施設として住民の期待に答え、低

保育料を維持しながら快適な保育サービスを提供することを課題として取り組む。病後児保育など今後いろいろな要望がでてくると思うが、それらに

応えられる子育て支援センター的な施設を前向きに考えたい。

放課後児童クラブについては再度調査、研究する。

国保会計は医療費の増加により、平成17年度は前年度対比10%の伸びである。健康教室、健康相談、定期的健診の奨励等行っていく。

◎新たな住民負担があるのか

【A】音声告知機は無料貸与

情報環境基盤整備事業は3月議会で実施することが決まった。厳しい財政状況の中、住民に新たな負担を負わせることのないよう要望する。

先般三原市を視察したが、施設が十分活用されていないかと思った。

町にはどのような報告がなされたのか伺いたい。

FTTH（光ケーブル）

ル）とFTTC（同軸ケーブル）の違い、FTTHを選択した理由について説明して欲しい。巨額の費用投資をするのだから、町民の利益になるように、作って良かったといえる施設を作る努力をしてほしい。

先日各家庭に配置された防災無線との二重投資にはならないか。

TCB（東伯地区有線放送）とHCV（ケーブルテレビ東ほうき）を統一すればコスト削減にならないか伺う。

答弁（町長職務代理者）

三原市視察については、町民にどのような行政サービスを提供できるか、またFTTHをなぜ選択したのか、理由・根拠の明確化を意識しながら視察に行くように指示した。

今回の視察を受け、企画課を中心に、すべての課を対象にしたFTTH利活用検討委員会を立ち上げ、サービスの検討を進めている。



HCVの内部風景

FTTHはFTTCの同軸ケーブルよりは耐用年数が長く、雷や雑音に対する被害に強いので採用したい。住民負担については、現在の音声告知機利用者には負担はない。事業が始まる中で地域別説明会をしたい。

防災無線は行政からの一方通行であり、双方向の音声告知機とは根本的に違う。

HCVとTCBの統一については、FTTH事業とは直接関係ないが、デジタル放送を開始するためのコスト削減にはなる。

②「耳マーク」の設置は

【A】早急に設置する

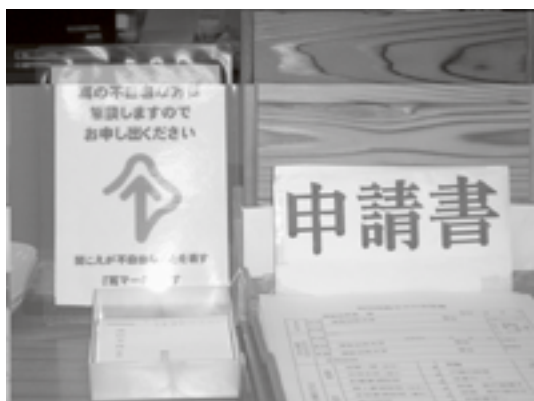


村中隆芳議員

- ① 公的施設での「耳マーク」の設置についての意向はあるのか。
- ② 聴覚障害者の手話通訳等の利用者負担は導入すべきではないと思うが。
- ③ 手話通訳者の養成及び派遣事業についてどのように計画しているか。
- ④ 聴覚障害者の方の活動拠点の要望があるがどうか。
- ⑤ 現在、防災行政無線機を全戸へ貸与しているが、聴覚障害者への配慮はどうなっているのか伺う。

答弁（町長職務代理者）

- ① 聴覚障害者の方が安心して利用できる公共施設・各庁舎にするために「耳マーク」を設置し、職員への対応能力も高めていく。
- ② 利用者負担は、中部圏域各町が集まり協議を行なっている。結果を踏まえながら慎重に検討したい。
- ③ 本町単独での事業展開は難しいので、近隣の自治体と共同実施を進めていきたい。
- ④ 重要性は承知するが、単町での設置は困難である。中部圏域での設置の可能性について、関係団体の意見を伺いながら検討していく。
- ⑤ 聴覚障害者向けには情報が入ると光で点滅し、情報を文字で表示することのできる装置を無償で配備する。



窓口に設置された「耳マーク」

6月定例会

議 案 審 議

第4回定例会が平成18年6月26日から29日までの4日間の会期で開催された。湯梨浜町一般会計補正予算(第1号)など10議案を可決し、人権擁護委員の候補者の推薦は適任者と認めた。

専決処分の承認

- ☆老人保健特別会計補正予算

医療費増加分に対する繰上げ充用、1億716万3千円を追加補正。

条例改正

- ☆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

休憩時間を廃止し、休憩時間に一本化する。

- ☆防災行政情報無線連絡施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

施設の名称、位置を改正。

- ☆非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

法律施行令の改正に伴うもので、退職報償金の支給額を改正。

- ☆公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

特定法人へ職員を派遣するための改正。

- ☆多目的温泉保養施設設置及び管理に関する条例の一部改正

裸風呂、会議室等の利用料を設定するもの。



龍吟の湯（龍鳳閣）

補正予算

- ☆一般会計補正予算

大字名変更に伴う経費、雷被害修繕工事、青少年育成対策など、3千44

4万3千円を追加補正。

☆下水道事業特別会計補正予算

汚水ポンプ取替工事、
町道改良工事に伴う下水道管移設に399万円を追加補正。

☆介護保険特別会計補正予算

介護保険制度改正に伴うシステム改修、地域包括支援センター運営費など、399万円を追加補正。

その他

☆町道路線認定

以前から住宅が建築されている集落内道路で、田後長砂線ほか18路線。

☆人権擁護委員

・小原富士子（松崎）
・尾西正己（羽衣石）
両名とも適任者と認める。

委員会活動

総務常任委員会

☆5月17日

・第3回臨時会提出議題
・コミュニティバスについて

☆6月1日

・コミュニティバスについて
・地域防災計画について
・国民保護計画について
・防災行政無線について

民生常任委員会

☆5月12日

・第3回臨時会提出議題

☆6月27日

・第4回定例会提出議題
・陳情審査

教育産業 常任委員会

☆4月11日

・龍鳳閣の改修工事について

☆4月28日

・龍鳳閣の改修工事について

☆5月16日

・第3回臨時会提出議題

・第3回臨時会提出議題



教育施設利用調査特別委員会風景

教育施設利用調査 特別委員会

☆6月28日

・第4回定例会提出議題

☆6月29日

・秋田議員の死去に伴う
委員長の互選

委員長 福本幸弘

☆7月6日

・今後の取り組みについて

・福本委員長辞職に伴う
委員長・副委員長の互選

委員長 増井久美
副委員長 入江 誠

議会広報調査 特別委員会

☆4月7日

・議会だより第8号内容
検討、編集

☆4月14日

・議会だより第8号校正

☆6月29日

・議会だより第9号内容
検討

☆7月18日

・議会だより第9号編集

☆8月7日

・議会だより第9号校正

議会運営委員会

☆5月17日

・第3回臨時会提出議題

・第4回定例会について

☆6月15日

・第4回定例会について

☆6月26日

・議案訂正について

中部町議会議員研修



中部町議会議員研修

とき 平成18年8月1日
ところ 琴浦町赤碓地域
コミュニティセンター
県観光課長の木村敬氏
を講師に招き「観光は地
域づくり。観光は中部を
元気に！」の演題で境港
市の実例を分かりやすく
話され、4町の議会議員
約50名が熱心にメモを取
り、今後の中部の観光開
発の取り組みに大いに役
立った。

請願・陳情審査

6月定例会において常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定した。

☆請願☆

件名	請願者	紹介議員	審査結果
出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願	鳥取県労働者福祉協議会 理事長 中田博明	酒井幸雄	採 択

☆陳情☆

件名	陳情者	審査結果
「市場化テスト法案」に関する意見書採択の要請	自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則	不採択
地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実させる陳情		趣旨採択
湯梨浜町の「鳥」指定についての陳情	日本野鳥の会鳥取県支部 支部長 竹中 稔	趣旨採択
「認定子ども園」の拙速な創設に反対する意見表明を求める要望	鳥取の保育を考える会 会 長 石井 由加利	継続審査

意見書提出

出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書は、議員提出議案として提出され、全会一致で可決された。

意見書は、内閣総理大臣ほか関係各大臣に提出した。

第三回臨時会

第3回臨時会が平成18年5月18日に招集され、11議案を可決した。

○専決処分の承認を求めることについて

・平成17年度一般会計補正予算（第9号）

・平成17年度下水道事業特別会計補正予算（第4号）

・平成17年度老人保健特別会計補正予算（第3号）

・税条例の一部改正

・地方税法の改正に伴うもの。

・国民健康保険税条例の一部改正

・地方税法の改正に伴うもの。

○多目的温泉保養施設置及び管理に関する条例の一部改正

○工事請負契約の変更

防災行政無線施設整備工事で、戸別受信機
の追加、移動局の追加
などの事業費の変更。

○字の名称の変更に伴う
関係条例の整理に関する
条例の制定

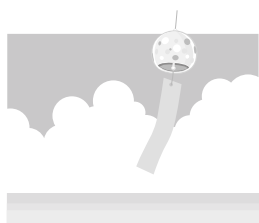
○ケーブルテレビ施設の
設置及び管理に関する条
例の一部改正

○水道事業の設置等に關
する条例の一部改正

この3議案は、『大
字長瀬』が『はわい長
瀬』に名称変更になる
ことに伴うもの。

○国民健康保険税条例の
一部改正

平成18年度における
国保税の税率を改正す
るもの。



龍鳳閣 観光案内所 ハワイゆ～たうん 東湖園

の指定管理者が決まる

第5回臨時会が7月27日、会期1日をもって開催され、指定管理者の指定4件などを可決した。



◎湯梨浜町多目的温泉保養施設（龍鳳閣）

指定管理者 財団法人東郷温泉龍鳳閣振興公社

所在地 湯梨浜町大字引地560番地7

指定の期間 平成18年9月1日から平成22年3月31日まで

◎はわい温泉・東郷温泉観光案内所

指定管理者 はわい温泉・東郷温泉旅館組合

所在地 湯梨浜町大字はわい温泉5番地22

指定の期間 平成18年9月1日から平成22年3月31日まで



◎湯梨浜町立温泉ふれあい会館（ハワイゆ～たうん）

指定管理者 財団法人羽合温泉開発公社

所在地 湯梨浜町大字龍島500番地

指定の期間 平成18年9月1日から平成22年3月31日まで

◎湯梨浜町立老人福祉センター及び湯梨浜町デイサービスセンター（東湖園）

指定管理者 社会福祉法人湯梨浜町社会福祉協議会

所在地 湯梨浜町大字泊1085番地1

指定の期間 平成18年9月1日から平成22年3月31日まで



☆議会広報調査特別委員会の欠員による補充をした。

補充議員 濱中武仁

☆行財政改革調査特別委員会の欠員による補充をした。

補充議員 酒井幸雄

☆議員派遣を決定した。

鳥取県町村議会常任・議会運営委員長研修会

派遣場所 三朝町総合文化ホール

期 間 平成18年9月1日

派遣議員 吉村敏彦、光井哲治、酒井幸雄、福本幸弘



故 秋田議員

永遠に安らかにお眠りください

弔 辞

湯梨浜町議会議員 故秋田和幸君のご霊前に、謹んで哀悼の辞を捧げます。

あなたは、湯梨浜町の旧家に生を受け、高校卒業後すぐNTTへ勤務され退職後には家業に励まれるとともに、豊かな経験のもと積極的に郷土の発展に貢献されました。

その着実な業績の数々は、別所地区の方々をはじめ広く町民の尊敬するところであり、かつ、町議会に籍を置き、2期6年にわたり地方自治の推進に大きな足跡を残されました。

その間、東郷町議会では議会広報調査特別委員長、政治倫理の確立に関する調査特別委員長を歴任され、湯梨浜町議会では教育産業常任委員長の大要職に就かれ、円満な議会の運営に大いに尽力され、真に民意を代表した議会人として、地域の発展に大いに貢献されました。

あなたのすぐれた識見と円熟した人格は、接する人に親愛の情と敬意を起こさしめ、ことを運ぶに当って常に貴重な役割を果たしてまいられたのであります。

今後の町政運営にあなたのご活躍を期待するところ誠に大きなものでありましたのに、昨27日、ご家族の方々の献身的なご看病のかいもなく、再び帰らぬ人となってしまいました。わが町の重要な柱の一本が、急に抜き去られたような、むなしい思いにかられるのを禁じえないのであります。

今は、ご遺族のお悲しみを思ってお慰めの言葉もありませんが、湯梨浜町の今後の発展のうえに、あなたのご偉業は脈々として伝えられることと信じ、ここに心からご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

泉下の霊には、どうか永遠に安らかに眠られますよう重ねてお祈り申し上げ、告別の言葉といたします。

平成18年6月29日

湯梨浜町議会

議長 松本 繁

(東郷町議会の経歴)

第二常任委員会 委員

平成13年4月27日～平成15年4月26日

教育産業常任委員会 副委員長

平成15年4月27日～平成16年9月30日

広報調査特別委員会 副委員長及び委員長

平成13年4月27日～平成16年9月30日

政治倫理の確立に関する調査特別委員会 副委員長

平成15年6月16日～平成15年12月18日

(湯梨浜町議会の経歴)

総務常任委員会 委員

平成16年10月5日～平成17年4月29日

教育産業常任委員会 委員長

平成17年5月6日～平成18年6月27日

会計調査特別委員会 副委員長

平成17年12月21日～平成18年3月7日



湯梨浜町宇野（宇野東入口より西へ200m）

宇野地藏ダキ

宇野地区にある自然流下の滝水で、宇野山から年中流れ出ています。「南無妙法蓮華經」と彫られた巨石があり、そこに「ダキ」と呼ばれるわき水があります。カルシウム含有量が多く、「甘みがある」、「クセがない」と評判で、鳥取県が選定した「因伯の名水」の一つとなっています。



湯梨浜町宇野（宇野東海岸より沖へ30m）

亀石

宇野地区の東海岸に、亀石と言われる亀の姿に似た岩があります。「昔々、女の神様（倭文（しとり））神社の下照姫命（したてるひめのみこと）」が海から亀に乗っておいでになり、陸からの眺めを大変気に入り、帰るのを忘れてしまった。神様の帰りをじっと待っていた亀は、そのまま岩になってしまった」とい言い伝えます。

議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。

議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。

議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎ 35-5341

《あなたの声をお待ちしています》

編集後記

秋田和幸議員が54歳の若さでご逝去されました。当初から議会広報調査特別委員として、「議会だより」の編集に携わってきた仲間だっただけに残念でならない。

お互いに健康管理には十分気を付け、広報、議会活動はもちろん、新しい町づくりに全力を注ぎたい。

議会広報調査特別委員会

委員 竹中 壽健